

ぼらんていあ

2012・2



連絡先

桑名市社会福祉協議会

TEL:0594(22)8218

FAX:0594(23)5079

川越・朝日・桑名ボランティア交流会

日時：6月20日（月）AM9：30～13：30

会場：川越町いきいきセンター大会議室

- ・東日本大震災の被災地（岩手県下閉伊郡山田町）へ、ボランティアで参加した川瀬会長の話
- ・交流会 グループ別に座談会形式で活動報告・自分達に出来るボランティア活動・災害に対して出来ることについて討議
- ・バンド演奏 朝日町ボランティア連絡協議会メンバー
- ・レクダンス 桑名ボランティア連絡協議会 レクダンスのメンバーと参加者全員
- ・グループ討議の発表
- ・ティータイム 川越町ボランティア連絡協議会のメンバーによる抹茶と手作りの葛まんじゅうのサービス



川越町小西会長



グループ討議



朝日町 バンド演奏



桑員 レクダンス

台風12号による被害

台風によって犠牲になられた方々、またそのご家族の皆様へ、深くお悔み申し上げますとともに、被害にあわれた皆様へ心よりお見舞申し上げます。一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。



熊野川 水害前



9/7 13000m 上空から



台風12号 北上
長時間の風雨 被害甚大
三重 紀宝町
午前10時

9月3日10時前に高知県東部に上陸し四国地方、中国地方を縦断し日本海へ北上、5日15時に温帯低気圧に変わった。西日本から東日本にかけ広い範囲で記録的は大雨となった。特に紀伊半島では、8月30日17時からの総雨量が多い所で1800mmを越えた。この災害で、河道閉塞17箇所その他、孤立集落が発生するなど紀伊半島を中心に甚大な被害をもたらした。また、死者71名、行方不明者23名、全壊293棟、半壊153棟、床上浸水9030棟、床下浸水18937棟の人的、住宅被害をもたらした（9月27日16時 警視庁調べ）



前日からあいにくの雨降りで、実行委員はじめ職員やボランティアさんは雨の中での会場設営となりました。誰一人文句を言うものもなく黙々と準備をしました。当日の朝、みんな早くから集まってきて雨が上がることを信じて滴る雨をもろともせず準備を始めました。

そんな時施設長よりゴーサインが発信され「雨のくわのみ祭り」が開幕しました。開けてみると、雨にも関わらず大勢の来場者に施設の内外はごった返すくらいの盛況でした。太鼓の演奏や地域のオヤジバンドの演奏など、また施設の中で開いて頂いたボ連協の皆さんによるバザーも「場所がわかりづらい」ということも思わせないくらいの盛り上がりでした。

バザーの売上金全額と募金の全額を、台風被害に遭われた三重県内の福祉施設へお届けすることになりました。

ボ連協のみなさんありがとうございました。

第7回 桑名市福祉大会

11月10日(木) 桑名市市民会館 小ホール

おめでとうございます



市長感謝状

みどりの会 加藤 和恵さん

会長感謝状

桑員レクダンスクラブ

太田 つや子さん

しらさぎの会

安江 静枝さん



三重県ボランティア連絡協議会研修会

テーマ「ボランティア活動で創る新しい支え合い」

日時 11月20日(日)

場所 三重県社会福祉会館研修室

講師 新崎国広先生 [大阪教育大学]

桑名からは、桑ボ連協の研修会として25人参加。大変分かりやすく、ゲームなどしながら、あっという間の2時間でした。他の市からも、もっと参加者が有ったら・・・と、残念でした。

ボランティアとは「広く人と関わり続けること」

「共に歩んで行く人」

「年齢制限は無い。年齢に合った活動がある」 人に必要とされることが、生きがいになるボランティアとして大切な事

① 笑顔

② 失敗を恐れない

一生懸命の結果、失敗した時は経験になる

上から目線

出来ない約束をして、破る

個人の秘密を守らない

失敗を隠したり、ごまかす

③ 手をつなぐことの大切さ

社会連帯意識を、持つ

改めて、ボランティアについて考える良い機会になりました。

小松 郁子

しらさぎの会活動



視覚障害者の方や車イスでの外出困難な方々の支援を行っています。その中で1年に1~2回交流会を設けています。

春はお千代保稲荷、秋は岐阜県可児市の花フェスタ記念公園へ太陽号のバスを使って行ってきました。天気は園内を回るのに丁度良い気温でバラは春に比べて6割程度でしたが、香りを楽しみ元気を頂きました。今年も春には綺麗な花を求めて計画するつもりです。

しらさぎの会のボランティアは、いつも明るくチームワークも良く、和気あいあいと楽しく活動しております。

しらさぎの会 代表

桑名ボランティア連絡協議会に団体登録加入して

私たち桑員レクダンスクラブは、自分たちが元気で脳の活性化につながるように3年前に発足致しました。

活動の一環としてボランティアで施設訪問をしていたので、私は個人としてボランティア連絡協議会に登録加入していましたが会長から団体に加入してはどうかと声を掛けて頂き、23年度から加入させていただきました。早速6月には、川越・朝日との交流会で、レクダンス披露の依頼を頂き、練習に取りかかり、知名度の低いレクダンスがどういうダンスかを多くの方に知っていただきました。

11月20日の新崎先生の講演講習会で、川越・朝日のボ連協の方と再会し、12月に見学して頂きました。

団体登録したことで、ボ連協まつりや研修会にと参加し会員相互でボ連協の内容・意義を理解して頂きました。ボランティア団体ではありませんが、必要経費も団体助成金で算出できて一番大切な部分の解決ができ、これからのボランティア活動に役立てていきたいと思えます。

太田つや子

自助具フォーラム2011 in 三重

10月 桑名・鈴鹿の自助具グループの担当で自助具フォーラム2011が津市の三重県身体障害者総合福祉センターにて開催されました。名古屋、大阪、彦根、枚方等10地区の自助具ボランティアの皆さんが熱心に活動報告を発表されました。片手でペットボトルのキャップを開ける道具・靴下の着脱が容易な補助具・歩行者が後方確認をできるバックミラー等です。私達は手首に力の入らない方のための『ふきん絞り器』を発表しました。その他片手で伊賀組み紐をつくる道具や今までに発表した器具の改良等の発表がありました。とくに自助具製作ボランティアの現状について厳しい討論がありました。何処も高齢化にて、若い人の参加が少ない、啓発の為の講習会に参加者が少ない、我々が開発した物が100円均一に出回っている、手仕事で物創りをする若者が減っている等の問題提起が有りました。

自助具の原点は、手指に障害をもった入院患者が、毎度看護婦さんに食事を食べさせてもらうのを自分で食べたいと希望したので、手のひらにスプーンを包帯で縛りつけ患者と介護者が試行錯誤のすえ簡単に着脱出来る様に改良して完成したと云われています。

自助具工房 くわな

桑名ボ連協まつり 9月3日(土)

桑名ボランティア連絡協議会は、会員相互の親睦を図り地域の人との交流を深める事を目的に恒例となっております。ボ連協まつりにおきまして、バザー・屋外での模擬店など市民の皆様の温かいご支援を受けて会員一同ご期待に添えるよう開催の準備をしておりました。



7月に入り暑い中を9月3日に向けて毎日市民の皆様から提供していただきました、物品の整理と準備に取り組んできました。しかし、当日思いもしない事態が起きました。台風12号の接近により暴風警報が発令され、福祉会館が閉館となってしまいました。...

桑員地区 勤労者ゆとりフェスティバル

10月29日(土) いなべ市北勢市民会館 桜ホール

桑員労福協ボランティアクラブさんのご厚意により、いなべ市北勢町で開催されたフェスティバルに於いてブースの提供をいただき桑名ボ連協まつりの便乗をさせていただきました。

当日は藤原岳を目前にひかえ好天に恵まれて大変な賑わいの中、バザー・模擬店も行列ができるほどの大盛況で完売いたしました。ボ連協の皆様、バザー委員の皆様の協力に感謝いたします

盛況なバザーの様子



名物!? 桑ボ連 特製やきそば



東日本大震災への支援として寄せられました

市民の皆様のご好意のバザーの収益金は、¥330,437.-となりました。

桑名ボランティア連絡協議会より、義援金として¥176,500.-も合わせて

『三重県災害ボランティア支援センター』の支援先であります

『岩手県下閉伊郡山田町 社会福祉協議会』へ義援金として送らせていただきます。